

# 効きめにチカラあり!!

アンビルはラリス社の登録商標。使用権はシンジェンタ社。



---

りんご・なし・かきなどの  
病害防除に!

---

あんず・  
すもも・  
ネクタリンにも  
使えます

## ■特長

- 果樹の重要な病害に幅広く効力を発揮します。
- りんごの黒星病とモニリア病の同時防除により省力防除が可能です。
- なしの黒星病の果実感染防止に高い効果を示します。
- 低薬量で高い効果を発揮します。

- 予防と治療の両方の効果を発揮します。
- 浸透移行性に優れています。
- 使いやすく、扱いやすいフロアブル製剤で、作物を汚す心配がほとんどありません。

## ■適用と使用方法

2017年9月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ヘキサコナゾールを含む農薬の総使用回数
りんご	斑点落葉病 モニリア病 褐斑病	1000倍	200~700ℓ/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	3回以内
	赤星病 黒星病 うどんこ病	1000~2000倍					
なし	輪紋病	1000倍	1000倍	収穫前日まで	1回	散布	1回
	灰星病 黒星病			収穫7日前まで			
もも モネクタリン	うどんこ病	1000~2000倍	150~300ℓ/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	灰星病	収穫7日前まで					
かき	うどんこ病	1000倍	1000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	灰星病			収穫7日前まで			
おうとう すもも	うどんこ病	1000~2000倍	1000倍	収穫前日まで	1回	散布	1回
	灰星病			収穫7日前まで			
あんず いちじく	さび病	1000~2000倍	1000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	白さび病			収穫7日前まで			
花き類・観葉植物 (ばら、さくを除く)	うどんこ病	1000~2000倍	1000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	葉さび病			収穫7日前まで			
ばら	炭疽病	1000~2000倍	1000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	赤星病			収穫7日前まで			
やなぎ ぼけ	さび病	1000~2000倍	1000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	白さび病			収穫7日前まで			
せいようきんしばい	うどんこ病	1000倍	1000倍	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内
	炭疽病			収穫7日前まで			
樹木類 (やなぎ、ぼけ、せいようきんしばいを除く)	葉さび病			収穫7日前まで			
	炭疽病			収穫7日前まで			

## ■試験成績

### なし・黒星病に対する効果

(昭62)長野県植防研南信分室

供試薬剤	希釈倍数	発病果率(%)
アンビルフロアブル	1,000倍	0.4
A剤	800倍	2.8
無散布	—	19.4

品種:幸水9年生  
散布:4月30日(開花直前)、5月11日・21日、6月1日・12日  
調査:6月25日

### りんご・黒星病に対する効果

(昭61)青森県りんご試験場

供試薬剤	希釈倍数	圃場試験		接種試験 *b)	
		発病葉率(%)	サビ果率(%) *a)	葉害	接種前散布
アンビルフロアブル	1,000倍	0.1	2.0	なし	○
B剤	800倍	13.6	7.0	なし	×
無散布	—	32.6	3.0	—	—

品種:ふじ(一部ジョナゴールド)約10年生  
散布:5月8日・21日・29日、6月9日  
調査:6月24日、9月20日  
(\*注) a) いずれも程度は軽い  
b) ○:発病なし ×:発病あり

## △ 使用上の注意事項



- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 使用前に容器をよく振ってから本剤の所要量を所定量の水にうすめ、よくかき混ぜてから散布してください。
- りんごに使用する場合、次の事項に注意してください。
  - 1.斑点落葉病に対して使用する場合は、落花後20日頃までの初期防除剤として使用してください。
  - 2.モニリア病に対して使用する場合は、予防的な散布は効果が劣るおそれがありますので、葉腐れの初期病斑発見直後に使用してください。
  - 3.旭に対してはサビ果を生じるおそれがありますので、使用をさせてください。
- ばらに使用する場合、収穫期の散布では、汚れを生じるおそれがありますので留意してください。
- 散布量は対象作物の生育段階・栽培形態及び散布方法に合わせ調節してください。
- 本剤の使用に当っては、使用量・使用時期・使用方法を誤らない様に注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 誤飲等のないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当を受けてください。
- 眼に対して弱い刺激感があるので眼に入らないよう注意し、眼に入った場合には直ちに水洗してください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用してください。また、散布液を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体质の人は取扱いに十分注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう繩囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

●ラベルをよく読む。 ●記載以外には使用しない。 ●小児の手の届く所には置かない。 ●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理する。

